

あなたの声を町政に

13人が町長・教育委員長・代表監査委員に、一般質問を行いました。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。

大山町は1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

一般質問席

ページ	質問事項	質問議員
17	1. 名和小学校に土俵場の設置を 2. 障害者差別解消法施行を前に	西山 富三郎
18	1. 町村合併 町長の思いは 2. 保育の実態は適正か 3. 乗車ルールの見直しとタクシー助成制度	圓岡 伸夫
19	1. 若者に魅力ある定住施策は 2. 未利用(遊休)財産の利活用について	杉谷 洋一
20	1. 移住、定住策 2. メディア潰けで壊れる子どもたち	西尾 寿博
21	1. 地域包括ケアシステムは機能しているか 2. メディアと子どもたち問題への対応は	吉原 美智恵
22	1. 総合計画について 2. まちづくりの人財育成について	近藤 大介
23	1. 観光振興の重要性について 1. 出産ママにご褒美を	大杖 正彦 岩井 美保子
24	1. 予算編成の考え方を問う 2. 子どもの貧困対策を	岡田 聡
25	1. 子どもの貧困対策を問う 2. 「障害者差別解消法」の施行に当たって 3. 小地域保健福祉活動支援事業を拡げるために	大森 正治
26	1. 子ども・子育ての支援とは 2. 墓地調査について	遠藤 幸子
27	1. 農産物処理加工所の今後の見通しは 2. 山香荘の活用は	米本 隆記
28	1. 水道利用家庭の止水栓位置が判る、止水栓台帳の作成を 2. 組織・集落・町民・行政が一体となった地域活性化を	野口 昌作

議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます

名和小学校に土俵場を

教育委員長 環境整備などを優先したい



西山 富三郎 議員



名和小学校の相撲大会

〔西山〕名和小では毎年相撲大会を開いている。土俵場の設置を望む人が多いがどうか。
〔教育委員長〕旧庄内小学校で取り組まれた行事を受け継いでいるが、行事は大切にしたい。グラウンド内に設置すれば一定の面積が占有される。施設や環境整備を優先したい。

〔町長〕人間形成・人格形成の根幹である。生活の中で人間が磨かれ、職員も仕事していると思う。
〔教育委員長〕人間の生き方、めざすべきあり方だと思う。

〔西山〕障害を理由とする差別を禁止する「法」が4月に施行される。合理的配慮は、行政は義務、つまり配慮しなければならぬ。合理的配慮の例をあげたガイドラインを作っているか。
〔町長〕県が策定をした職員行動規範などを参考にして整備に向けて取り組むたい。合理的配慮としてどのような措置が望ましいかなど基本的な考え方や具体的な事例など、分かりやすく掲載することで、障害を理由とする差別について理解を深め、解消していく

合理的配慮のガイドラインは

町長 整備に向け取り組む

取り組みを進めたい。
〔西山〕教育分野の取り組みは。
〔教育委員長〕県の教育審議会は、今後の特別支援教育のあり方の諮問を国から受け、答申をまとめている。その中に合理的配慮の説明されている。県の教育委員会も策定中であり、町長部局と連携し、対応要領などに取り組むたい。

障害者差別解消法がスタートします!

この法律は、障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しています。

〔注〕正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」です。

その人らしさを認め合おう



丸岡 伸夫 議員

道州制をどう思うか

町長 見通しは不確定だ

【丸岡】国会で道州制の質問に対し、首相は「国と地方のあり方を根底から見直す大きな改革」だとして、前向きに検討を進める考えを示した。

また「現在与党において基本法案の取り扱ひも含め、道州制の議論を前に進めるべく検討が重ねられている」と答弁した。

本町の合併10年をどう総括するか。道州制でさらに進められるであろう市町村合併についてどう思うか。

【町長】合併したこと、大山めぐみの里公社の設立や拠点保育所の整備、光ケーブルの架設など住民福祉の向上に向けた各種の基盤整備を行った。

全国町村長大会で「道州制に反対する」と特別決議を行っている。実現の見通しは不確定だと思う。



子どもの笑顔を守るために

保育の法令違反はないか

町長 安全推進者の選任を規定する

【丸岡】昨年、北海道労働局は道内の保育所220カ所に立ち入り調査をした。

全体の82%の181カ所で労働時間などの法令違反が見つかり、是正勧告をした。

本町でそういう実態はないか。

【町長】拠点保育所での安全推進者の選任を、規定をしていなかったのに対応したい。

【教育委員長】保育標準時間は11時間なので、その時間を確保するため、早番や遅番など必要なパート職員を適切に配置している。

乗車場所の見直しを

町長 一定の制約がある

【丸岡】デマンドバスを予約したが、決められた場所の近くで寒さをしのいでいたら、バスは依頼者を探さずに走り去ってしまったそうだ。

こういう事例は町長のいう「人にやさしく安全・安心して暮らせるまち」と相いれないのではないか。

【町長】スマイル大山号は「タクシー」ではなく「デマンドバス」である。

利用区間や乗降場所、運行時間が決まっています。運行には一定の制約があることを理解してもらいたい。



安心してこの町で暮らすために



杉谷 洋一 議員

若者の定住施策は

町長 宅地造成で定住促進する

【杉谷】米子市周辺の町村と比較した場合、人口の減少率が高く、今後の町の発展や集落維持に支障を来たすと考えられる。

町内外の若者に魅力ある定住施策として、大胆なまちづくりが必要では。

【町長】所子地内に民間活力で宅地造成し定住促進をはかる。

また、住宅新築をともなう移住や定住に助成し、補助金や各種の子育て支援を実施する。

【杉谷】メディアを利用



宅地の造成予定地(大山口)

して、町内外に発信しては。

【町長】大山開山1300年で注目されており、いろいろな機会を捉えて発信したい。

【杉谷】若者の声を行政に反映させては。

【町長】若者が未来会議で10年プラン策定と地域まちづくり活動に参画している。

【杉谷】集落の支援に絞った地域おこし隊の募集はできないか。

【町長】一つのアイデアだと思うが、勉強させてほしい。

遊休財産の利活用は

町長 地元と地域自主組織で

【杉谷】町が現在保有している土地建物には、遊休物件が見受けられる。維持管理費軽減のため、長期的な視野に立った町有財産の適正管理に努める必要がある。

個々の物件ごとに有効利用を検討し、活用が見込めない場合は、隣接の集落への無償貸与や隣接者に払い下げを優先し、希望がなければ町民や企業などに売却してはどうか。

【町長】遊休町有地の処分活用検討会議を設置し、太陽光発電などの有効活用を進めている。

【杉谷】保育所の統廃

合などで未活用な建物があるが、青少年の犯罪の温床になりかねない。これらの施設は地域の中心的な位置にあり、まちづくりを行う上で早急にさまざまな活用方法の対応が必要と思うが。

【町長】地元と地域自主組織で有効活用がない場合は、民間での活用を進める。



有効活用が必要な旧所子保育所



西尾 寿博 議員

移住・定住策の考え方は

町長 インターチェンジ(IC)などを中心に

町長

【西尾】本町の人口は5年前と比べて1000人あまり減少した。人口流出の約半分が米子市への転出である。

山陰道もでき、住みやすい環境を生かし、宅地整備を進めるようだが、基本的な考え方は。

【町長】町外通勤者や若者世代にはIC周辺であることや、教育環境がポイントになると考える。中山地区はナスパルタウンがあるのでIC付近は外した。



ICに近いナスパルタウン

【西尾】いままでの住宅、宅地整備の問題点は。

【町長】本町では14カ所の町営住宅整備をし、2カ所の宅地整備を行った。その時どきで、最善策を行ってきた。

【西尾】中山地区の子どもの割合は、ナスパル、さざんか団地で3割近くになる。

行政の役割は重要だと思ふが。

【町長】今回は関係各課の連携で施策をつつた。制度の活用についても情報交換をしたい。

教育委員長

全町で取り組む

メディア利用の規制はあるか

【西尾】本町の保育所、小・中学校のメディア利用の時間の実態は。

【教育委員長】全国学力学習状況調査の結果では、本町児童は、全国平均より多くメディアを利用している。

【西尾】スマートフォンやゲームなどの使用に規制はあるか。

【教育委員長】県や郡内の教育機関でさまざまな取り決めをしているが、基本的には保護者の判断であり、共通の約束ごとや規制までには至っていない。

【西尾】各学校のPTA活動の取り組みはどうなっているか。

【教育委員長】PTA



メディアの危険性を説明(生涯学習大会)

地域包括ケアシステムの進展は

町長 仕組みの充実に努める

町長



吉原 美智恵 議員

【吉原】地域包括ケアシステムは、高齢者に住まい、生活支援、医療介護予防を一体的に提供したいへん重要な仕組みである。

住み慣れた地域で、自分らしく暮らせる生活モデルを実現させることが求められているが、今の状況は。

【町長】医療機関と連携した取り組みを進め、医療から在宅生活へのスムーズな移行、見守りや安否確認の活動を行う地域づくりの取り組み



地域の力で介護予防

みも重要であり、機能の充実に努める。

【吉原】国も、在宅ケアに力を入れ、地域で済み続ける支援を強化せよといっており、介護や認知症問題は対策が急がれる。患者やその家族が気軽に相談できる受け皿づくりが重要と考える。

校区単位の「まちかど保健室」や町内企業、警察と連携したネットワークの構築を考えては。

【町長】検討する。

教育委員長

連携し取り組む

メディア対策を行うべきでは

【吉原】テレビゲーム、パソコン、携帯電話など電子メディアの急速な普及で、子どもたちの生活は大きく変わり、危険にさらされている。

学校や保護者だけの問題ではなく、行政としても正確な認識を持ち、早急な対応が必要ではないか。

【教育委員長】たいへん危惧しており、各学校やPTAでノーメディア週間などの取り組みを行っている。

【吉原】子どもの脳や視力への影響は深刻である。町全体の実態調査を行い、保・小・中の連携を生かして、対策を行うてはどうか。



外で遊ぶ子どもたち



近藤 大介 議員

「楽しさ自給率」とは

町長

町内で楽しさが生まれ広がること

〔近藤〕総合計画「未来づくり10年プラン」の基本理念「楽しさ自給率の高いまちへ」とはどういうことか。

これを実現するためには、必要なことは何か。

〔町長〕魅力あるまちを作るためには、一人ひとりが一歩を踏み出し、行動していかなければならぬ。その一歩を後押しし、行動を支えるのは、楽しさである。

町内には、自然や文化など、楽しさのよき資源がたくさんあり、それらを生かし



楽しさ自給率を高めるために

て楽しさを生み出す人がいて、その人たち同士がながつてさらなる楽しさが生まれていく。こうして、町内で楽しさが広がり、どんどん自給されていく。「楽しさ自給率の高いまち」とは、そのような意味である。

これを実現するため、住民、企業・行政などが連携してまちづくりに取り組むとともに、めざすべき将来のイメージを共有することが必要であると考えている。

〔近藤〕まちづくりの人材・リーダー育成をもっと積極的に進めていくべきである。

国内外を問わず、一定の目的を持つ町民の研修旅行事業に、町が助成する制度を作っているか。

町長

新たな事業は考えていない

青年・社会人の海外研修事業を

〔近藤〕現在の海外研修、国際交流は中学生が中心の事業になっている。

町内の青年・社会人に、さまざまな経験を

得られる機会を作っているか。

〔町長〕現在の交流事業のなかで充実させていく。



中学生主体の国際交流事業

〔町長〕全海外研修は、アメリカ合衆国のカリフォルニア州テメキュラ市、また韓国江原道襄陽郡との交流研修も含めた国際交流事業へ支援を行っている。

また国内研修旅行については、個別の事業で必要な場合は予算化している。

新たな研修旅行という事業は考えていない。

大山に山の駅を

町長

地域の取り組みなら支援したい



大杖 正彦 議員

〔大杖〕大山には多くの観光客が訪れるが、地元ではお金が使われていない。

この対策として、山の駅を作つては、

〔町長〕観光客の受け入れ施設や質が十分でないという課題に対して、地元呼びかけ「大山にぎわいプロジェクト」を立ち上げ、おもてなしやお土産などの対策を議論している。

山の駅（ビジターセンター）は、まさにそのグランドデザインで、地



富山県立山の「山の駅」※モンベルHPより

域として取り組むのであれば、町としては可能な限り支援を考える。

〔大杖〕開山1300年は目の前で待ったなしである。プロジェクト推進にどうしても必要な経費が発生した場合、次年度予算を前倒しする考えはないか。

〔町長〕予算なので議会とも相談しなければいけないが、そうなるてほしいと思っている。

グランドデザインをすすめる中であれば、大いに期待するところだ。

出産ママにご褒美を

教育委員

きめ細かく取り組む



保育所が救いの手

〔岩井〕出産ママは生まれたばかりの赤ちゃんとゆつくり過ごせる時を、育児休暇をとりながら、1年間の休養を希望している。

おなかで10カ月間育て、そして命がけの出産を終え、疲れた身体を立て直すには、1年間の休養が必要不可欠である。

育児休業をとった場合、3歳未満の兄弟は保育所で預けられない制度となっているようだが。

〔町長〕子育て支援策の根幹は、安心して子供を産み育てることができることと心から思える環境が、家庭や地域、自治体、企業などにあるかどうかであると考えている。

〔教育委員長〕保育所は、保育の必要な児童が入る施設と定められている。要件を取り除くことは難しいが、育児家庭を取り巻く環境の変化には時代の波がある。

来年度からはきめ細かく取り組んでいく。



岡田 聰 議員

予算編成の考え方は

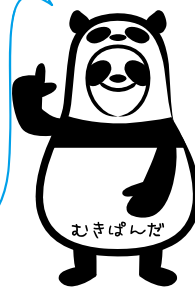
町長 4項目を重点に推進する

【岡田】森田町政2期目最終年度の予算である。交付税の減額、社会福祉費の増大、経常経費の増など厳しい状況の中で予算編成と推察する。自治体が住民福祉のために存立する以上、最小の経費で最大の効果を上げるよう常に努力が必要である。

公約実現のために特に力を入れている事業は何か。

【町長】少子化・定住化対策、健康対策、産業振興、町民参画の4項目を特に推進したい。

※**将来負担比率・実質公債費比率**
負債の大きさを財政規模との割合で表す指標。いずれも高くなると危険になる。



【岡田】さらなる財政健全化の取り組みが必要では。

【町長】合併特例債の利用や余剰金の基金積み立て、町債の抑制や繰り上げ償還、リースから一括購入の検討などを行っている。

【岡田】将来負担比率や実質公債費比率の認識は。下げる努力は。

【町長】十分に念頭に置きながら予算編成を行っている。

【岡田】近年、子どもの貧困は大きな社会問題となっている。児童憲章の精神にのっとり、子どもの生活は保障されなければならない。

2012年の調査では、平均的な所得の半分(約122万円)を下回る世帯で暮らす18歳未満の人数の割合は、全国で約16%に達し、過去最悪だった。

町内の実情を把握しているか。

【町長】残念ながら正確な把握が困難である。しかし、2015年5月現在の町内の小・中学生1204人に対し、貧困状態にあると思われる人数は194

町長

子どもの貧困対策は福祉事務所が主体で行う

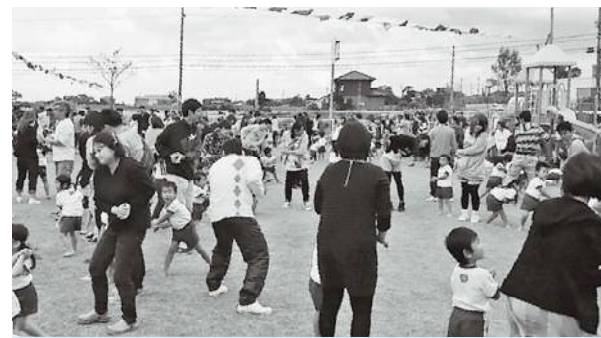
人で、約16%となつてい

【岡田】行政として支援すべきと考えるがどううか。

【町長】対策は福祉事務所が主体であり、県

や町、教育委員会などと連携・協力しながら推進している。

町としては、税の減免や医療費助成、日常生活支援などを間接的に行っている。



子どもみんなが幸せに



大森 正治 議員

貧困対策の拡充は

教育委員長 拡充は考えてない

【大森】給付制の進学奨励交付金事業を、同和地区生徒に限らず町内すべての生徒にも広げることや、高校生への通学費助成なども貧困対策の重要な施策ではないか。

【町長】現在、取り組む考えはない。

【大森】直接的な貧困対策である就学援助制度の拡充は。

【教育委員長】手厚くしているので、現時点で拡充は考えてない。ただ、支給していないPTA会費は、検討する余地がある。

【大森】本町の就学援助率は全県平均と比べ数ポイント低い。

就学援助制度を周知徹底するために、チラシの内容の工夫や先生たちへの啓発のための研修をしようか。

【教育委員長】周知は徹底できている。

障害者差別解消法の対応は

町長 まず対応要領を作成する

【大森】この法律を施策にどう生かすか。

【町長】基本は、不当な差別的扱いの禁止や合理的配慮の提供である。

行政機関は、具体的な内容を示す対応要領を作成する。障がい者への差別的対応をしないよう、日々の業務や施策に生かす。

【大森】施策推進にあたり、障がい者の参画をどのように考えているか。

【町長】対応要領の作成や計画・協議の場に障がい者の参画を進め、意見が入るよう努める。



手話も合理的配慮の例

集落の保健福祉活動を広げる方策は

町長 講演会や事例紹介で意識づけを

【大森】「小地域保健福祉活動支援事業」に取り組み集落は約2割。広がらない要因とそれに対する方策は。

【町長】集落への意識づけや取り組み方の周知不足かも。講演会や活動事例の紹介などで認識を深めよう。

【大森】保健・福祉推進委員合同の研修会は、年1回では不十分でないか。

【町長】不足しているなら、担当者が集落に向向いても事例紹介などをする必要があると思う。



ふれあいいきいきサロンで七夕飾り



遠藤 幸子 議員

子育て支援の取り組みは

教育
委員長

不安の解消をはかる

【遠藤】子育て支援策が、必要とする人に十分に理解されていない。現在取り組んでいる主な施策は何か。

【教育委員長】子育て支援センターを3カ所設置し、家庭で子育て中の保護者同士の交流、育児の不安や孤立感の解消をはかっている。学習プログラム「子育ての旅」は、回数を増やし、保護者の養育能力の向上、保護者同士の交流をはかっている。



育児の不安解消を

子育てハンドブック「すくすく」を作成し、妊娠から出産、乳幼児期から学童期までの支援策をとりまとめた。支援策を行う各担当課が連携し、さらに充実させる。

【遠藤】保育所の利用条件は。

【教育委員長】子ども、子育て支援新制度に定められる保育の必要量の認定を受けなければならぬ。

町長

墓地調査のその後は

今後も継続する

【遠藤】以前、墓地調査について一般質問を行ったとき、1、2年の時間が必要であると答弁を受けた。それから2年経過したが、現在の状況はどうなっているか。

【町長】移住・定住を進めている町として、墓地の確保は必要な課題と考えている。そのような思いから、昨年、適地を選定し、関係者に説明を行った。土地の所有者には了解をもらったが、隣接の人に理解をいただけなかったため、断念した経過がある。今後は、新たな場所を選定して、取り組み



墓地にふさわしい場所はどこか



米本 隆記 議員

農産物処理加工施設の今後は

町長

民間委託もありえる

【米本】平成22年から稼働し、恵みの里公社に貸し出した農産物処理加工施設は、稼働から2年間は緊急雇用対策によって年間2000万円もの交付金の手当てされ、利益も確保されるはずだった。

しかし、実際はやっとの事で決算をしていた。その後は合併振興基金などで、予算措置を続けてきたのは事実である。

6年経過したいま、毎年補助金を支出する



いつになったら収支の改善がはかれるのか

施設の今後を考える時期ではないか。

【町長】公社は、加工施設の収支構造の分析と改善策をコンサルタントに委託し、その報告が示された。それによって、納品価格の見直しや加工工程による経費削減を進めている。

町としては、平成28年度に再度評価を行う。

【米本】民間業者に委託はしないのか。

【町長】条件が整えばそれもありえる。

山香荘の活用は

町長

指定管理者に期待する

【米本】人工芝の多目的グラウンドに改修したのは、毎年一般会計から指定管理料や修繕費などで1000万円超の繰り入れがあったからではないか。

改修後も繰り入れ金が削減できないが、どうする考えか。

【町長】繰り入れ額を削減できない大きな理由は、築34年を経過する山香荘や付属建物の老朽化が進み、改修に経費がかかっているからだ。

今後も指定管理者の営業努力に期待する。

【米本】町民が利用できないのなら経費削減のため、サッカー協会と指定管理者の間を取り持つ職員はいらないのでは。

【町長】次年度からは、非常勤とするように協議をしている。



どうすれば改善できるのか



野口 昌作 議員

止水栓台帳の作成は

町長 考えていない

【野口】この冬は大寒波が襲来し、水道管が凍結し破裂した家庭が多くあった。止水栓の位置が分からず非常に苦労された家庭もあり、位置が分かる台帳の作成が必要だと考えるがどうか。

【町長】町水道の止水栓は一部を除きメーターボックス内に設置している。水道管破裂の問い合わせに、雪のため手間取ったところもあるが、すべて位置が確認でき



止水栓と水道メーター

た。止水栓台帳の整備は現在考えていない。メーターボックスの位置を示した地図の整備を行う。

【野口】止水栓が各家庭で管理ができる状況を作る必要があるのでは。

【町長】指摘を受け、止水栓の位置を平常時に確認し、緊急時に備えてもらうよう、広報とホームページに掲載した。

【野口】故郷に帰省し、地域を懐かしむ同窓会に助成をしてほしい。

【町長】南部町などが婚活目的での開催に助成をしているので、勉強してみる。

【野口】友好館の町外者の利用料金は町内者の倍となっているが、同窓会で使う場合は町内者と同じにしては。

【町長】使いやすい料金設定を検討する。

【野口】集落や組織が継承している伝統行事に郷土遺産の認定は。

【教育委員長】伝統行事などは地域の連帯や絆を強めるとも大切なかかけがえのない行事だ。



友好館で同窓会を

【野口】伝統行事は誇りや生きる喜び、連帯感を強め、集落を盛り上げようとする考え方が自然に醸成されると思うが。

【教育委員長】行事の大切さは認識している。将来的には町指定の無形民俗文化財も考える。

同窓会に助成は 他町の例を調べてみる

町長

第1回臨時会 1月27日

否決から一転 未来づくり10年プラン基本構想を可決

12月定例会で否決した、大山町未来づくり10年プランの「基本構想」が、一部修正して提案され、賛成多数で可決しました。

【質疑】

「基本構想」が12月定例会で否決されたことは全国的にまれである。町長・行政はどう受け止めたか。

【町長】1年間、未来会議で議論された素案をもとに作成した。基本的な考えは同意されたが、文言の指摘があった。住民の思い・願いが行政の施策で進められるのではなく、住民自ら築き上げたざわり、実現に力を合わせる事が重要である。

討論

【反対：園岡議員】基本理念がない。目標は元気なまちづくりで、そのために観光の振興という基本政策ができ、観光資源の活用・促進という具体的政策があるべきだ。

【賛成：加藤議員】基本理念の「楽しさ自給率の高いまち」をもとに、未来会議で70人以上が社会実験も含めまとめられた。私たちはこの人たちに託していいのではないか。



多くの若者の声を集めた基本構想

第2回臨時会 2月24日

医療機器 リースから購入へ

大山診療所で人間ドッグを始めるための医療機器を、リース契約から購入に変更する補正予算案が提案され、賛成多数で可決した。

また、未来づくり10年プランの基本計画も可決した。

質疑

【園岡議員】医療機器のリース契約を、一般会計からの繰り出しで購入にした理由は。

【町長】一括購入で約100万円の節約になる。

討論

【反対：園岡議員】健診センターの機能を持たせる前に、どういう体制で人間ドッグを実施すべきか考える必要がある。